

公益財団法人日本バスケットボール協会

2020 年度 7～6 月期事業方針

全世界を席卷する新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、国内外のスポーツを取り巻く環境は未曾有の事態に陥っており、いまだ正常化の兆しが見えない状況にある。バスケットボールファミリーが一丸となってこの困難に立ち向かい、乗り切っていくためにも、JBA としては、政府方針等に基づき、刻々と変化する状況に適応しながら、今期の事業方針を踏まえつつ、その対策・対応を重点実施事項に反映させる。

◇事業方針【2020 年度 7～6 月期】

- ① 「Break the Border」の精神のもと、改革方針の継続実施
- ② JBS2016/JBS2020 の方針・目標の達成に向けた事業の実施

◇重点実施事項【2020 年度 7～6 月期】

- ① オリンピックの 1 年延期に伴う代表強化活動を再構築する
- ② FIBA や海外の NF との情報共有を緊密にし、日本国内における国際大会の実施環境を模索する
- ③ JBA 主催の国内競技会は、予選大会も含め、柔軟性をもって大会フォーマットを変更し、大会の開催可否の判断を行う
- ④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を策定し、競技者（指導者/審判含む）の安全確保を前提とした新たな競技機会を創出する
- ⑤ JBA および都道府県バスケットボール協会の連携を強化し、時々刻々と変化する新型コロナウイルス感染症に対応した事業の実施を検討する
- ⑥ JBA の組織運営を行うにあたり、新たな会議運営、その他テクノロジーの導入などを積極的に推進する
- ⑦ 「JBS2020」の策定およびガバナンスコードに適合するための規定や規約を整備する
- ⑧ 「2023FIBA バスケットボール・ワールドカップ」に向けた組織体制を整備し、事業性を確立する

◇前提

2020 年度 7-6 月期事業計画／予算計画立案にあたっては、2020 年 4 月末現在の状況を踏まえ、以下の条件を前提とした。

なお、自粛要請解除の時期が変動した場合は、都度計画を再考するものとする。

- ① 2020 年 7 月時点において、自粛要請が解除されていること
- ② 競技会を含めた各事業が 8 月より実施可能な状況となっていること
- ③ 各事業の実施にあたっては感染防止対策を講じること
- ④ 活動再開後に必要となる定期検査などの安全配慮措置や事業開催時の感染防止措置等については、現時点では具体的なガイドラインを策定途中であり、事業計画および予算計画には反映できていない

◇主要活動

1. 関連組織ガバナンス

- (1) JBA、PBA（都道府県協会）、各種連盟、協力団体等との連携強化

- ① 新型コロナウイルス感染症による、組織活動の再開に向けたサポートの実施
- ② PBA 連絡会、全国専務理事連絡会、PBA マネジメント人材養成等を実施し、組織基盤向上を図る
- ③ 日本社会人バスケットボール連盟、全日本大学バスケットボール連盟の機能強化と事業の推進への指導等
- ④ 日本障がい者バスケットボール連盟加盟団体の活動推進のサポート
- ⑤ 協力団体（全国高体連専門部、中体連、専門学校、定通制、高専、スペシャルオリンピックス日本）との競技会における連携と協力
- ⑥ アンダーカテゴリー部会（U12/U15/U18）活動方針の具現化
- ⑦ ブロック協会およびブロック事業における整備と役割の更なる明確化

(2) 登録制度および D-fund 制度

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響への対応方針の策定と都道府県等へのサポート
- ② 競技者数の増加に向けた具体的方針と実施
- ③ D-fund 運用のサポートと PBA 評価制度の確立

(3) 一般団体スポーツ団体ガバナンスコード対応への指導およびサポート

2. JBA 組織運営

(1) JAPAN BASKETBALL OFFICE の体制構築

- ① 関係団体間の事務局機能の連携強化、人材の交流促進
- ② 事務局人材の育成・強化

(2) 「JBS2020」の策定

- ① JBS2016 の総括

(3) NF 向けスポーツ団体ガバナンスコード対応

- ① ガバナンスコード適合性審査に向けた対応
- ② インテグリティ活動の推進
- ③ コンプライアンス関連方針等の策定

3. 代表関連

※東京オリンピックの開催が1年延期されたことにより、国際/国内競技日程と代表強化活動計画を再構築する。

(1) A 代表

男子① Japan's Way を具現化するための長期的な選手育成・強化体制の構築を図るべく、引き続き「一貫通貫プロジェクト」を推進

男子② 海外遠征や国際強化試合の機会創出を図り、経験値を上げることで世界基準の高い競技レベルの壁を克服

女子① 継続して A 代表×アンダーカテゴリー代表と連携・連動した強化プランの遂行

女子② スキルコーチを登用し選手個々のレベルアップを遂行

(2) アンダーカテゴリー代表

男子① 高いフィジカルレベルの習得と、コンタクトスキルの向上を目的にした強化活動の推進

② ポジション・サイズアップや英語でのコミュニケーション能力の向上

女子① 大型選手の強化、ユーティリティプレイヤーの養成、海外の日本人パスポート保持者のタレント発掘活動

(3) 3×3

① 東京オリンピックに向けた「世界で戦えるチーム」作りのため、対戦チームを想定した強化活動を遂行

② B リーグや W リーグ等を含めた「国内大会と連携」を図り、可能な限りワールドツアーやウーマンズシリーズなどの海外大会へ出場する

③ 帰化選手を含めた長身選手のオールラウンダー化、機動性の高いグループ戦術の遂行能力向上、フィジカル強

化により「日本スタイルの熟練」の推進

4. 国際関連

(1) FIBA との連携強化

- ① 国際移籍/FIBA 公式大会関連等
- ② 男子アジアリーグ/女子アジアクラブチャンピオンズカップ構想

(2) 日本代表チーム支援

- ① 東京オリンピックに向けた強化試合等の調整等

5. 普及育成関連

(1) 長期的視野に基づいた年代別育成方針/システムの確立

- ① ユース育成組織における一貫した情報伝達・発掘体制の強化
- ② U12/U15/U18 競技環境方針の具現化
- ③ ユース育成指導者/保護者に対する育成方針の周知・浸透
- ④ ユース育成指導者への年代別指導内容への反映・周知

(2) 競技者人口拡大に向けた各カテゴリーの競技環境の整備

- ① U12/U15/U18 における登録問題の施策検討

6. 指導者関連

(1) コーチライセンスの国内統一プログラム・カリキュラムの実施

(2) コーチデベロッパー制度の構築

- ① コーチ、コーチデベロッパーを評価するアセスメントシステムの構築
- ② S 級～B 級ライセンスを担当するコーチデベロッパーの養成

(3) 海外協会とのパートナーシップ提携も踏まえた人材交流の実施

7. 審判関連

(1) 審判インストラクター制度の充実

- ① ライセンス別認定講習会の実施
- ② プログラム・カリキュラムの構築

(2) 審判ライセンスの国内統一プログラム・カリキュラムの構築

- ① 2021 年度からさらに B～D 級ライセンス全国統一化を進めるための準備
- ② A 級ライセンスへの情報提供
- ③ トップリーグ担当審判のレベルアップに向けたシステム構築

(3) 審判員数増加のための施策および若手上級審判員の育成強化策の構築

- ① U18 審判員増加に向けた取り組み

(4) 海外協会とのパートナーシップ提携も踏まえた人材交流の実施

8. 事業関連

(1) 日本代表戦/各種大会の再設計および価値向上策の推進

- ① ウインターカップの収益向上 & コンテンツ価値拡大/天皇杯・皇后杯の収益化（大会方式の大幅変更）
- ② 第 1 回 U15 選手権大会へ向けた各種整備/全国ミニの収益化および大会のあり方検討
- ③ 日本代表戦の価値向上および FIBA 公式戦への着実な対応

(2) 東京 2020 へ向けた TO/スタティスティシヤンの育成および管理養成システム構築

- ① FIBA ライセンス取得へ向けた育成の仕組みづくり（3×3 含む）
- ② 中長期的な TO/スタティスティシヤンの全体レベル向上のための管理養成システム構築
- (3) オリンピック競技運営への準備に対する NF としての着実なサポート**
- (4) JBA 主管大会以外の各種大会の各種管理・サポート業務（国体、IH、その他大会、PBA からの大会開催申請への管理業務など）**
- (5) 3×3 競技の普及、競技環境の整備および日本代表強化へ繋がる競技大会の実施**

9. 広報関連

- (1) ニュースバリューをさらに高めるためのプロモーション連動型広報活動の展開**
 - ① 事業ごとのプロモーションターゲットを明確化し、関連部門との連携によるプロアクティブな広報施策の展開
 - ② コンテンツ制作への外部業者導入を含めた外部発信体制の強化およびコンテンツの多様化
- (2) B.MARKETING への JBA 広報・PR 業務委託によるバスケットボール界全体の露出強化**
 - ① JBA 広報 PR 戦略に基づく情報展開を可能にするメディアリレーションの構築
 - ② 情報展開・露出拡大を目的とした同時かつ多角的アプローチの実践
 - ③ 内部的広報（JBA-PBA 連携）体制の強化に加え、Bリーグ、Wリーグ等、関係各団体の発信力を利用した多角的情報展開および情報共有の実現
- (3) 2020 年オリンピック競技大会の延期に伴い想定される各種国際大会のリスケジュールへの柔軟対応、および各カテゴリーの活動に対する情報網羅**
 - ① 5 人制男女トップカテゴリー
 - ② 3 人制男女トップカテゴリー
 - ③ U 世代トップカテゴリー全般
 - ④ 普及・育成関連事業全般
 - ⑤ 主に車いすバスケットボールを念頭に置いた障がい者バスケットボール連盟（One Basketball Project）との相互協力・連携体制構築

以上